

「チーム合又川 けんせつ小町 意見交換会」

～若者や女性が参入しやすい職場づくりにむけて～

日 時：平成 29 年 5 月 21 日（日）11：00～12：30

場 所：富山河川国道事務所 小矢部出張所 会議室

出席者：【工事に携わった女性技術者（5名）】

○小矢部川・合又川合流点処理工事

射水建設興業(株) 監理技術者 金塚 歩美

○小矢部川・合又川合流点処理その2工事

竹沢建設(株) 監理技術者 西川 知日子

○小矢部川・合又川合流点処理その3工事

(株)岡部 現場代理人 高見 るみ子

○黒部河川事務所 調査課長 岡嶋 康子

(前小矢部出張所長)

○富山河川国道事務所 工務第一課 工務係長 風間 美樹

【事務所代表女性技術者（2名）】

○富山河川国道事務所 工務第一課 専門職 田村 真美

○富山河川国道事務所 工務第一課 係員 来住南 希



合又川合流点処理事業に係る土木工事は、工事の着手から完成まで一貫して女性技術者が、“**チーム合又川 けんせつ小町**”として、設計・施工・監督の各部門において主導的立場（監理技術者、現場代理人、監督員、設計担当）を担って工事を進めました。女性の感性から培った技術力を工事の設計・施工に活かし、女性ならではのコミュニケーション能力により地元関係者等との調整を進め、更に、女性の立場から現場環境の改善に取り組み、全ての工事を無事故・無災害で完了しました。

工事に携わった女性技術者と事務所代表女性技術者が集い、工事を振り返るとともに、**若者や女性が参入しやすい職場づくりについて意見交換**を行いました。



工事の施工調整について
4者協議



地元関係者との協議

【合又川合流点処理事業】

平成 20 年 7 月の集中豪雨により小矢部川が洪水となり、水が合又川に逆流し、家屋や田畑が浸水する被害が発生。

このため、小矢部川が洪水になっても、合又川への逆流を防ぐため、樋門の設置をはじめとした合流点処理事業を平成 26 年度から進め、平成 29 年 5 月に竣工。



工事施工中で一番記憶に残っている思い出を教えてください。

◆合又川合流点処理工事について 射水建設興業(株) 金塚さん
～冬の河川工事 子育てとともに～

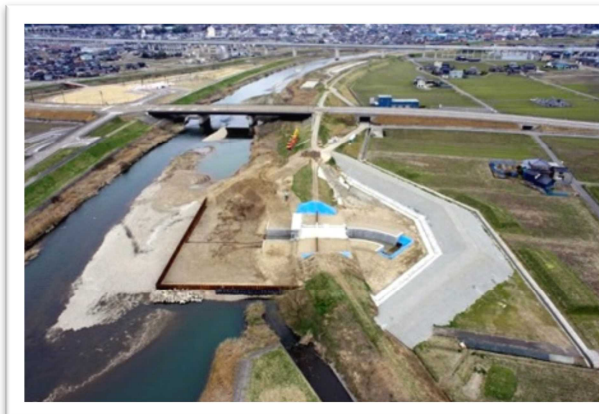
金塚 私の携わった工事は樋門（鉄筋構造物）の施工がメインで、冬をまたぐ季節の工事でした。雪対策として屋根のある仮囲いの中で施工をしていたのですが、雪が積もるとその屋根が壊れてしまう恐れがあるため、最大 8 台のジェットヒーターを中で焚いて雪対策を行いました。

休日も屋根の事が心配なため、夫と一緒に子供をつれて現場に行き、除雪してヒーターなどへ燃料を入れていましたね。その時の大変さが一番思い出されます。

田村 休日にもご主人やお子さんと一緒に、現場に行かれたのですか？

金塚 そうです。河川工事に携わると、休日でも家族と現場へ行くのが恒例のようにになっています。特にこの現場は、力を入れて取り組みましたね。

岡嶋 平成 28 年 1 月 24 日、あの日は、すごい暴風雪の日だったと記憶しています。あの日の夜は、現場に泊ったのですか？



金塚 いいえ、朝近くにはなりましたが、一度帰りました。ですが、屋根を作ったばかりでしたので、夜中の 2 時か 3 時まで、現場職員と待機していました。

岡嶋 「そういった遅くなる場合、お子さんをどうなさっているのですか？」と伺ったら、その時は、割り切って、実家に預けるそうですね。

金塚 子供達も、「お祖父ちゃん、お祖母ちゃんの所へ行く」と喜んでいきます（笑）。

◆合又川合流点処理その 2 工事について
竹沢建設(株) 西川さん
～柔かなコミュニケーション能力を発揮して～

西川 その 2 工事は大体 1 年ぐらいの工期で、その 1 工事から引継ぎ、その 3 工事へバトンタッチするまでの工事です。

ですが、工程の問題や施工方法が決まっていな箇所もあり、「私達が仕上げないと次に引き継げない」という焦りを感じていました。

いろいろ案を出し合い進めていきましたが、やらなけれ





地元の皆さんとは仲良くさせて頂き、あっという間に終わりました。
工事が完了して引き渡しが終わわり、ホッとしました。

ばならない事も沢山あったため、結構あっという間に終わった感じがします。

岡嶋 その2工事では、合又川河道の付替えと切廻し、そのために必要な仮設をどのようにするかなど、結構いろいろな案を頂いて、それが一番ご苦勞を掛けたと思っています。また、借地の地主さんや耕作者の皆さんからの細かい要望などを聞いて頂きましたね。

西川 いろんな方と接する機会が多い工事でした。合又川は富山県管理の箇所なので、小矢部土木や土地改良区と打合せをしましたし、地権者の方や北陸電力とも相談させて頂きました。

◆合又川合流点処理その3工事について (株)岡部 高見さん ～仕上げの工事、地元対応も的確に～

高見 その3工事が最後の工事、今年の3月末には必ず完成させなければならないため、幾つもの箇所の施工を同時に進めました。弊社は若い技術者が多く、数箇所を同時に施工するための人員配置に苦慮しました。まだ不慣れな技術者が現場を仕切らなければならない場合もあり、心配しましたが、最終的には余裕を持って完了することが出来たので良かったです。
また、雪が積もる前に田んぼの復旧を完了しなければならなかったため、早い段階から田んぼに置いてある残土の処理方法の検討を進め、降雪前に復旧を無事に終わらせることが出来たことを思い出します。



岡嶋 あの残土の利用については、手早く段取りをつけて頂きました。
岡部さんに地質の勉強会を開いて頂いてね。若い人、いっぱい居ましたからね(笑)。
また、最後の工事でしたので、河床整正をするにあたり、漁業組合さんの意見も聞いて頂き、淵も作りしました。
もともと小矢部川と合又川の合流部には、魚や蟹などいろいろな生物が生息している淵があり、合又川を塞いでしまうと淵が無くなると危惧され、岡部さんには色々工夫して頂きました。

高見 その2工事の仮設として使用していた袋詰玉石を再利用して、淵を形成しました。皆さんに喜んでもらった事を覚えています。



◆当時の小矢部出張所長 岡嶋さん

～事業着手から完了まで女性技術者が主導で～

岡嶋 女性の皆さんと一緒に取り組めた事が一番の思い出です。工事を発注する際、女性技術者の条件を付けている訳でもないのに、偶然にも女性技術者が集まることになり、なかなか無い経験でした。たまにする雑談も楽しかったですし・・・。

また、女性技術者の皆さんと、地権者の所へ借地交渉のため伺った際に「ちょっと寄り道していかれ」とハーブ園に案内され、ハーブ教室体験やハーブティーをご馳走になったり、別の所では、アイスクリームを頂いたりもしました（笑）。

地元の皆さんにも本当に良くして頂き、これが男性の技術者と一緒だったら、こうはいかなかったのかなと思います。

田村 そうですね。女性だからという事もありますね。

岡嶋 地元の皆さんと世間話もできたし、強みじゃないけど、武器を使ったかなと！

田村 女性という武器を使いながらですね。



◆当時の設計係長 風間さん

～夫婦でやりくりしながら仕事を・・・～

岡嶋 風間さんはお子さんが2人いるなかで、メールの履歴を見るといつも遅い時間になっていて、家庭は大丈夫なのかと心配しましたが、そのあたりはどのように両立されていたの？

風間 我が家の場合、「この日は遅くなる」という時は主人にお願いして面倒をみてもらい、お互いに調整しながらやっていました。

岡嶋 ご主人も同じ職場ですよ。

風間 ただ、やはり忙しい時期はお互いに忙しいので、ほぼ被りますね。「忙しいからお願い」と言うのと「こっちも忙しいから」と言う感じで、どちらかと言うと「快く」ではないですが、お互いに調整しながらやりくりしています。今では、子供も大きいのでそこまで手が掛からなくなりました。



岡嶋 現場にしても事務所にしても周りが女性だったということもあり、わたし的には物事が言い易かった。金塚さんの工事で堤防開削した時、土質が当初見込んでいたより悪い状態であったため、掘削範囲が広がったことで手間が掛かったことに加え、必要資材の数量も増え、結構タイトな工程になったことを思い出しました。

金塚 もうワンデイレスポンスで注文しないと資材が間に合いませんと言って……。本当にあれこそ「ワンデイ」でした。

若者や女性が参入しやすい職場づくり

◆技術者の交代制度について

～「出産、育児」で技術者交代が可能になったけれど・・・～

岡嶋 金塚さん、お子さんを出産されてから、職場へ復帰されるまでがすごく早かったですよね。

金塚 5ヶ月で復帰しました。
交代して引き継いだ工事が今繰り越している状況で、国交省の入札参加の実績に対応できる技術者が弊社には少なく、入札参加を見送った経緯もあり、休んで迷惑を掛けた分、少しでも早く復帰しようと思いました。

田村 小さいお子さんを抱えながら、お仕事をすると大変ですね。
金塚さんから平成 26 年の意見交換会の時に、監理技術者の交代制度の条件に「出産、育児」を加えるべきとの提案があり、現在は明記されています。

金塚 提案はさせていただきましたが、まさか自ら利用するとは思っていませんでした。

田村 金塚さんが出産されるため、御社から監理技術者の交代申請が出された時、北陸地方整備局としては、「出産・育児」に関わる申請が初めてであったことや、交代される方の実績や資格の事もあり、対応に時間が掛かったと聞いています。

風間 やはり技術者は資格を持って仕事をしているので、なかなか交代は難しいですね。

田村 そこは緩和して休暇を取得しやすくしていかないと・・・。

岡嶋 どんどん活用して欲しいですね。そうやって 1 人が活用すると、安心して次につなげられる。

風間 実績が増えると、他の方も取りやすくなりますよね。

田村 これは女性だけの話ではないですよ。男性でも育児休暇を取得できる時代となっているので、取得できる環境づくりをしていく必要があります。



工事現場におけるアメニティ検討会
(北陸地整管内受発注者の女性技術者が出席対象)

◆若者に目を向けて貰うために

～職場環境の改善や働き方改革がカギ！～

田村 来住南さんがこの中で一番若いですが、土木業界について、若者としてこういう所がダメだとか、嫌がられる原因ではないかという意見はありませんか？

来住南 依然として力仕事のイメージがあり、砂や土にまみれるイメージをもたれていると思います。

ですが、最近は「けんせつ小町」や「快適トイレ」についての話題などがありますので、今後、土木業界のイメージアップに繋がれば良いと思います。

金塚 見学会だけで終わると表面しか分からないので、体験する機会がないとなかなか伝えづらいですね。インターンシップみたいな機会に、もっと女性が来てくれば良いのですが、いつも男性ばかりで・・・。

田村 参加されるのは、土木を勉強している方ですよね。「14才の挑戦」などはどうですか？

西川 14才だと安全面から、体験させられる内容が決まってしまうと思います。小学生となると、パワーショベルなどの重機に乗せるぐらいしかできないです。なので伝わっているかは・・・？



田村 確かに難しいですね。他には、どのようにしていけば良いと思いますか？

金塚 弊社には無いですが、週休2日制を取り入れてはどうですか？

岡嶋 皆さん休む暇が無いから、なかなかこの業界に入りづらいと聞きますけど？

高見 週休2日制になっても、会社と現場は違いますからね。

岡嶋 そうですよね。現場は動かさないといけないですし、下請けさんとの折合いもあります。



田村 「土日出勤したので、代わりに平日休んでください」と言っても、こちらの現場は休みだとしても、他の現場へ行かれて仕事をされますよね。そのあたりをどうすれば良いのかが課題になります。

岡嶋 やはり先ほど来住南さんが言われたように、泥や砂にまみれるという印象があると思います。ですが、皆さんの現場はそんなに汚く無かったですよね？

西川 私達は慣れているところもありますが、普通の女性だと絶対にイヤだと思いますよ。外で長時間紫外線を浴びるので日焼けもしますし、砂埃も浴びます。それだけでたぶんイヤだと思いますよ。雨の中や暑い中で「あ～臭～い！」とか言うかも知れませんね。私達は、さほど気にならないですけどね（笑）。

岡嶋 そこから始まるかも知れないですね。金塚さんのお宅みたいに、小さい頃から泥遊びに慣らさせていれば変わるかも知れませんね。

金塚 もう我が家は英才教育ですから（笑）。

田村 そうですね。今では砂でさえ触らせない親御さんがいらっしゃいますからね。

岡嶋 昔はよく砂場で遊んでいました。

西川 私達が働き出した頃に比べると、環境が良くなってきていますが、普通の女性はまだまだ悪い印象を持っているでしょうね。



高校生・大学生を対象とした現場見学会

◆若手技術者との接し方 ～歳の近い先輩から学ぶ～

田村 高見さん、合又川の現場では、職員が多いときで6名、更に若い方が多かったと伺ったのですが？

高見 弊社では、新卒者をコンスタントに雇っているため、若い子が多いです。会社の方針として不景気で人手があまり要らない時も、頑張って採用し続けました。
そうする事で、上司が直接指導するのではなく、年の近い先輩から教わる事ができるため、人間関係も上手くいきます。

田村 繋がりを考えれば、その方が良いですね。



高見 他社さんは2～3人の少人数で現場を進めているのに対し、私達は4～6人で現場管理を行っています。費用は掛かりますが、人材を育てるためにこのような体制をとっています。

岡嶋 私の事務所にも新人がいるのですが、仕事について話しかけたら、ちょっとビックリされてしまいました。その時、私から直接話をするものではないと思いました。

田村 何か聞きたいことがあった場合、近い年齢の人に聞く方が聞き易いですね。

来住南 前の事務所にいた際に、私と年の近い先輩がいらしたので、やはり分からない事がある場合は、係長に尋ねるより、年の近い先輩に尋ねていました。すごく助かりました。

田村 私達としては、来住南さんのような若い人達に聞かれることは、ウエルカムですけど。

来住南 ここにいらっしゃる女性の方達なら、ばんばん聞きに行きたいです。

◆快適トイレについて ～きれいに管理されていれば洋式でも和式でも構わない～

金塚 現場の洋式トイレって、衛生面的に綺麗に管理できますか？

高見 無理だと思います。みんな嫌がりますね。

西川 私も自分で使うなら、和式を希望したいです。

金塚 結局、掃除をするのは自分達ですからね。

岡嶋 快適トイレの仕様について、最初は「洋式が基本原則」みたいな書き方になっていたのを整備局のアメニティ検討会の場で、「洋式に限らないで欲しい、書き方を変えて欲しい」と要望しました。

金塚 和式の水洗型は、一番綺麗に管理できると思います。

高見 和式でも洋式でも、別にこだわる必要は無いと思います。

西川 現場では、女性は自分だけの場合が多いので、自分の好きなトイレにできればと思います。

岡嶋 水洗で綺麗であれば、洋でも和でも構わないですよ。



★環境改善型トイレ(快適トイレ)をいち早く現場に導入

田村 現場作業員の方で、お年を召した方は、どちらの方を希望されますか？

西川 どちらが良いという事は言われません。逆に汚かったら、使用を控える作業員さんもいます。

金塚 他には、もう少し広いと良いよね。
合羽を着ていた場合、合羽を脱いでから使用するとなると、ちょっと狭く感じますね。

岡嶋 トイレについては、これからも現場の声をどしどし挙げていくことで、改善がされていくと思います。

高見 現在担当している現場の事務所には、大柄な方でも使用し易いサイズのトイレを導入しています。このトイレは排水をトイレから離れた場所に設置したタンクに溜め、タンク内でバクテリアの力を利用して消臭するシステムになっています。費用は掛かりますが、中がすごく広く、便座ヒーターやウォシュレットも付いています。

田村 それは、すごく快適ですね。



高見 今までのトイレは排水を自然流下させるため、トイレの下に排水を溜めるタイプが多いのですが、今回のトイレはポンプを利用して排水を送り出すので、高低差に関係無くタンクの位置を自由に決められます。タンクが満杯になったら汲み取りが必要ですが、タンク内はバクテリアによる消臭効果で臭いが気になりません。使っている感覚は、水洗トイレと全く一緒です。

岡嶋 西川さん、今の現場ではどうですか？

西川 現在、富山県の工事を担当しています。現場事務所のトイレは男女別で、電気はありますが水が無い場所なので、ウォータス（バイオトイレ）を導入しています。
「私はこれが良い」と言って、和式を導入しました（笑）。

岡嶋 国の工事じゃなくても、ウォータスを使用しているのね！

西川 富山県発注工事では、まだ快適トイレが推奨されていないですけど、会社の独自判断で導入しています。市の工事現場にも導入していますよ。

田村 発注者が異なっても、快適トイレの導入が広まっていけば良いですね。

意見交換会を終えるにあたり

～若手技術者も一緒になって意見が言える場を！～

田村 私自身、“女性だから”というテーマで討議するのは何か違うのではないかと思いながら進めてきましたが、女性だけでなく、現場で働く皆さんの声が反映される場があれば、よりよい方向に変わっていけると思っています。

岡嶋 発注者もいろんな制度を考えますが、現場環境の改善を図るためには、現場から声を挙げていくことが重要です。

田村 女性に限らず、若い男性陣にも入ってもらって、話ができればいいですね。

金塚 若い男の人達を集めての意見交換会を開催したことがあるのですか？

田村 開催したことが無いので、いろいろな意見が聞けるかと・・・。

岡嶋 違う会社の子達が集まってね。

金塚 高校の同級生が集まるみたいな感じになって、意外と声を出してくれそうな気がします。

田村 そこに受発注者の女性技術者が加わり、更に学生も入れば、より職場環境の改善や働き方改革などについての意見交換会ができると思います。それと、富山河川国道単独の取り組みではなく、富山県内の国交省事務所すべてを巻き込んだ規模で行うことで、他事務所との交流や富山県内建設業界の担い手確保・育成の取り組みの一環にもなります。

金塚 今回とは違った意見が多く出そうですね。

田村 建設業界を良くしていくため、機会があれば実現して行きたいと思います。今後もそれぞれの立場でより働きやすい職場を実現するため、色々な場で声を挙げていってください。本日は、貴重な休日に時間を割いてお集まり頂き、ありがとうございました。なお後日、事務所ホームページに本日の意見交換会の内容を掲載する予定にしていますので、是非、見てください。



参加者の紹介

◆工事に携わった女性技術者

金塚 歩美

(かなづか あゆみ)

勤務先:

射水建設興業(株) (入社18年目)



チーム合又川での担当:

「小矢部川・合又川合流点処理工事」の監理技術者
(主な工事内容)

- ・堤防開削のため必要となる土堤仮締切の設置
- ・樋門施工に必要な一重鋼矢板締切、土砂締切
- ・樋門本体工

主な経歴:

主に国土交通省発注の工事を担当し、監理技術者、現場代理人として従事。道路工事では能越自動車道に携わり、河川工事では、小矢部川、庄川、神通川、常願寺川の4河川を制覇。監理技術者交代制度を活用し育児休暇を取得、H29.5より現場に復帰、育児時間を取得しながら活躍している。既婚で子供3人。

西川 知日子

(にしかわ ちかこ)

勤務先:

竹沢建設(株) (入社13年目)



チーム合又川での担当:

「小矢部川・合又川合流点処理その2工事」の監理技術者
(主な工事内容)

- ・築堤
- ・樋門条件護岸
- ・樋門上屋工
- ・合又川付替

主な経歴:

主に国土交通省発注の工事を担当し、監理技術者、現場代理人として従事。道路工事では能越自動車道に携わり、河川工事では庄川、小矢部川の工事を担当。H26に「もっと女性が活躍できる建設業行動計画」に基づき、現場の労働環境整備モデル試行工事を担当。女性専用更衣室や男女別トイレなどを整備することで、労働環境改善について発信。

高見 るみ子

(たかみ るみこ)

勤務先:

(株)岡部 (入社13年目)



チーム合又川での担当:

「小矢部川・合又川合流点処理その3工事」の現場代理人
(主な工事内容)

- ・旧合又川閉塞
- ・築堤
- ・低水護岸、高水護岸

主な経歴:

主に国土交通省と富山県発注工事を担当し、監理技術者、現場代理人として従事。道路工事では国道8号、156号の現道工事に携わり、河川工事では庄川、小矢部川の工事に携わる。北陸地方整備局の「工事現場におけるアメニティ検討会」に参加し、アメニティ施設の改善点等を発信。富山県総合計画審議会青年委員会の委員として現在活躍中。会社には、本人を含め女性技術者9名が活躍している。

岡嶋 康子

(おかじま やすこ)

勤務先:

黒部河川事務所 調査課 (入省23年目)
【前小矢部出張所長】



チーム合又川での担当:

- ・小矢部出張所長として、合又川合流点処理工事3件全ての主任監督員を担当
- ・「チーム合又川 けんせつ小町」の牽引役を担う

主な経歴:

北陸地方整備局管内の砂防事業で設計積算、工事監督、富山・石川の道路事業で設計積算、工事監督を経て、H27.4より2年間小矢部川出張所長に就く。

風間 美樹

(かざま みき)

勤務先:

富山河川国道事務所 工務第一課
(入省22年目)



チーム合又川での担当:

- ・工事の発注担当として合又川合流点処理工事3件全ての設計積算を担当
- ・「チーム合又川 けんせつ小町」の一員として小矢部出張所長を補佐

主な経歴:

富山県内の河川、道路、砂防事業の設計積算を経て、H27.4より2年間庄川、小矢部川の河川工事の設計積算を担当。既婚で子供は2人。

◆事務所代表女性技術者

田村 真美
(たむら まさみ)



勤務先：
富山河川国道事務所 工務第一課
(入省26年目)

主な経歴：
富山県内の道路工事の設計積算、河川工事の設計積算・工事監督に携わり、危機管理や技術審査を経て、H28.4より神通川の設計積算、地元渉外窓口を担当。
既婚で子供4人。
今回の意見交換会では、コーディネーターを務める。

来住南 希
(きすな のぞみ)



勤務先：
富山河川国道事務所 工務第一課
(入省3年目)

主な経歴：
広島県出身。大学で河川工学を学び、北陸地方の急流河川に関する事業に関心を抱き、北陸地方整備局に入省。立山砂防事務所において砂防工事の設計積算を担当し、H29.4より富山河川国道事務所では常願寺川の設計積算等を担当。